



ちようふ

CONTENTS(主な内容)

新型コロナウイルスワクチンの
高齢者向け接種の概要…………… 3・4

特集「子ども家庭支援センター
すこやか開設20周年」…………… 8・9

調布市応援アスリートインタビュー…………… 16

東京2020オリンピック聖火リレールート公表…………… 16



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
☎050-5357-9679へ



令和3年度の基本的施策

コロナ禍を乗り越え 未来へつなぐまちづくりに向けて

3月1日から始まった令和3年第1回市議会定例会で、長友市長は令和3年度の市政経営に対する基本的な考えについて所信を表明しました。要旨は次の通りです。基本的施策の全文は市庁舎、公文書資料室（市役所4階）と各図書館でご覧になれます。
☎政策企画課 ☎481-7368

1 はじめに

● 感染症対策

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について、引き続き、3つの緊急対応の柱により、市民一人一人の命と健康を守るための感染症対策と社会・経済活動の再活性化に向けた支援の両面に関して、調布市医師会をはじめ多様な主体と連携・協力しながら、適時・適切に対応します。

● ワクチン接種

高齢者に対するワクチン接種については、調布独自方式の「集団接種」をはじめ、「個別接種」、「施設接種」の3つの方式により、4月以降の実施に向け、準備を進めています。さらに高齢者以外の対象者にも、できる限り早期に安心してワクチン接種ができるよう、万全の体制で準備に取り組みます。

● デジタル化

今般の感染症への対応を通じて、国と地方自治体のデジタル化の遅れなどの課題が明らかとなりました。市においても、デジタル技術の積極的な活用を進めるための組織体制を整備するとともに、人材育成や専門人材の活用などにも取り組みます。

● 調布市道などの陥没

昨年10月に、東京外かく環状道路本線トンネル工事現場付近で、調布市道などの陥没が発生し、その後、複数の空洞が確認されました。市と市議会は事業者に対し、早急な原因究明とともに、地域住民の安全確保、不安払拭のため万全の対策を講ずるよう強く求めて参りました。このような中、2月に入り、事業者は当該トンネル工事が陥没などの原因であることを明らかにしました。市は、引き続き、緊急要請した事項に対する事業者の取り組み状況や市民の不安解消に向けた対応を事業者を確認していきます。

2 まちづくりの基本理念の実現に向けて

東京2020大会本番に向けて、安全・安心を第一にオール調布で大会を盛り上げ、まちづくりへの多面的効果をもたらす有形・無形のレガシーの創出につなげられるよう、関連事業を展開します。併せて、「パラハートちようふ ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち～」を掲げ、共生社会の重要性を市内外に発信していきます。

パラハートちようふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

「パラハートちようふ」ロゴ

また、引き続き、平和祈念事業を展開する中で、中学生のピースメッセンジャーを新たに長崎市へ派遣し、平和交流の成果を広く市民と共有することができるよう取り組みます。

併せて、男女共同参画社会の形成に向けて、人権の擁護や性の多様性の尊重、DV防止などの取組を引き続き推進するとともに、令和4年度からの次期男女共同参画推進プランの策定に取り組みます。



中学生被爆地
平和派遣事業
(ちようふピース
メッセンジャー2019)



調布っ子「平和なまち」絵画コンテスト2020
親子で参加！3～5歳の部 調布市長賞 木村 聡さん（5歳）

3 市政経営の2つの基本的な考え方による取組の推進

参加と協働のまちづくり

参加と協働の前提となる市政情報の共有では、さまざまな媒体を通じた情報発信とパブリシティ活動を行います。

併せて、未来に向けたまちづくりを展望し、オンライン会議やコミュニケーションアプリの活用などにより、幅広い年代からの意見を把握し、次期総合計画策定に向けて取り組みます。

持続可能な市政経営の推進

行革プラン2019に基づき、行政運営の不断の見直し、改善に取り組みます。その中で、公共施設等マネジメントの推進では、個別施設のあり方、方向性を示す公共施設マネジメントの全体計画を策定します。

総合福祉センターとグリーンホールについては、利用者などの意見を踏まえた検討を進め、施設整備に関する基本的な考え方を取りまとめます。

4 予算編成に当たって

感染症拡大に伴う景気の悪化は市財政にも大きな影響を及ぼし、市税と各種交付金は、例年とは次元の異なる大幅な減収が見込まれます。極めて厳しい財政状況の中で、市民の安全・安心の確保と市民生活支援に継続的に取り組むことを第一に、不断の事業の見直し・改善に取り組むこと、さらに、厳しい財政環境の長期化も見据えた財政構造の改善と経常経費の縮減に取り組むことを基本姿勢として予算編成作業を行いました。

続きは2面をご覧ください → → →

→→→ 1面の続き

5 主要な施策について (重点プロジェクトの取組)

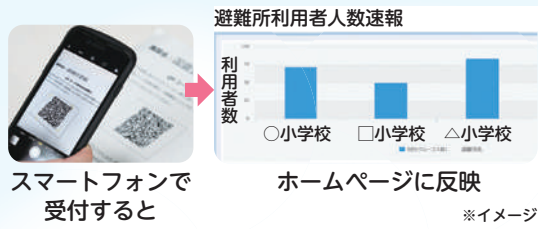
防災・防犯の面で安全・安心に 暮らせるまち

◎風水害対策の改善・強化への取組

令和元年台風第19号での経験とその後を検証を踏まえ、調排水樋管の遠隔操作化を実施するほか、市内の内水浸水想定区域図の作成に取り組みます。

さらに、避難所の開設状況や混雑状況をリアルタイムに情報発信する機能や、災害対策本部と避難所の情報を一元管理・共有する機能を備えた「避難所受付・情報共有システム」を導入します。また、消防団の災害対応能力の向上に向け、機械器具置場の建て替えや改修、消防ポンプ車の更新、装備品の充実に取り組みます。

避難所受付システム



◎防犯対策の推進

通学路や駅周辺への防犯カメラの設置を進めるとともに、商店会などによる街頭防犯カメラの設置を支援します。特殊詐欺被害の防止に向けては、被害防止に有効な自動通話録音機の貸し出し事業を継続します。

子ども・若者の健やかな成長・自立を 支援し、子育てしやすいまち

◎子ども・子育て支援の充実

保育園待機児童対策は、この4月に向け250人規模の定員拡大を予定し、令和3年度においては、認可保育園1園の誘致・開設のほか、年度限定型保育事業なども活用し、ソフト・ハード両面から取り組みます。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実に向けては、1歳前後の子どもがいる家庭へ、新たに育児パッケージを配布するとともに、子育て支援に関する情報提供や相談対応を通じて、必要な支援につなげます。

児童虐待防止に向けては、児童虐待防止センター事業を直営化し、虐待の早期発見と予防的支援の充実に向けて、相談体制の強化を図ります。



◎多様な教育課題への対応

公立小学校の学級編制の標準を35人へ順次引き下げるための法改正案が今国会に提出され、教育環境の改善につながる一方で、市は、更なる不足教室対策のため、学校施設の今後の計画的な増改築や改修などを検討します。

学校体育館の空調整備は、市立中学校全校への設置が完了し、令和3年度は市立小学校全校への設置完了に向けて整備を進めます。

学習指導は、市立小・中学校児童・生徒全員に1台ずつ貸与するモバイル端末を活用し、情報活用能力の育成と個々の資質・能力に応じた学びの実現につなげます。

高齢者・障害者にやさしい だれもが安心して住み続けられるまち

◎地域福祉の推進

課題を抱える地域住民に対し、必要な支援や課題解決につなげるため、8つの福祉圏域全てに配置した地域福祉コーディネーターを中心に、包括的な相談支援体制の構築に向けた取組を推進します。

◎高齢者福祉の推進

地域包括支援センターは、福祉圏域に合わせた8つの担当区域による運用を開始するとともに、生活支援と介護予防の推進を図る地域支え合い推進員を増員します。

◎障害者福祉の推進

パラリンピック開催を契機に、さまざまな障害への理解と社会参加の促進に取り組みます。障害者の余暇活動の場の確保や、誰もがスポーツに参加できる機会を創出します。

◎受動喫煙対策

調布市医師会、調布市歯科医師会などと連携しながら、調布市受動喫煙防止条例に基づき、市内各駅周辺などの路上喫煙対策など市民を受動喫煙による健康被害から守る取組を推進します。



にぎわいと交流のある 活気に満ちたまち

◎地域経済を支える市内産業への支援

市内事業者への支援は、商工会や商店会などと連携しながら、市の実情に即した施策に取り組みます。また、観光協会や映画・映像関連企業などと連携し、にぎわいの創出につなげます。併せて、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年となる令和4年を見据え、作品や著作などの功績を後世に伝えつつ、まちづくりに活かしていく方策について多角的に検討します。

◎東京2020大会を契機とした取組

スポーツを通じた市民交流や地域活動を推進するほか、パラアートの開催や、商工会と連携した市内商店などのバリアフリー化の促進などを通じて、障害者理解と心のバリアフリーの促進を図ります。



◎まちの活力を生み出す都市基盤整備

調布駅前広場は、令和7年度の完成に向けて、段階的に整備を進めます。都市計画道路は、歩行者の回遊性向上と道路ネットワークの構築を図るため、引き続き、着実な整備を推進します。

市の都市計画の基本的な方針である都市計画マスタープランについて、令和5年度を初年度とする次期プランの策定に向け取り組みを進めます。

人と自然が共生する うるおいのあるまち

◎緑の保全に向けた取組

海洋プラスチックごみや食品ロスなどの環境課題に取り組むべく、令和2年度改定の環境基本計画による新たな施策を推進します。

また、東京都の「ゼロエミッション東京の実現」の取り組みと連携し、地球温暖化対策実行計画による施策を市民や事業者と協働して推進することにより、脱炭素社会の実現を目指します。

深大寺・佐須地域の自然環境の保全・活用では、市が取得した用地について、農業公園の整備を進め、農の風景を継承する取り組みを推進します。

◎都市農業の振興

都市農業の振興と都市農地の保全・活用に向け、農業振興計画に基づき、「いきいきとした農業経営」、「農のある地域づくり」、「農地の保全・活用」の3つの柱により、施策を推進します。

6 おわりに

引き続き、市政の第一の責務として市民の安全・安心の確保と市民生活支援に誠実に取り組むとともに、市民サービスの質の向上に向け創意工夫を図る中で、市役所業務の改革・改善を進めます。令和3年度においても、この未曾有の難局を乗り越えていくことに最善を尽くすとともに、未来へつなぐまちづくりに向けて、歩を進めて参ります。

審議会等の会議の傍聴

※要マスク着用・発熱などの風邪症状がある場合は傍聴不可。新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止・延期・変更の場合あり

第3回調布市男女共同参画推進センター運営委員会
 日 3月22日(月)午後6時30分～8時(受付6時20分～)
 所 市民プラザあくろす3階ホール 定 当日先着5人
 調布市男女共同参画推進課 ☎443-1213・E danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp

令和2年度第2回防災会議
 日 3月25日(休)午後2時～3時(受付1時50分～)
 所 グリーンホール小ホール 定 当日先着10人
 調布市総合防災安全課 ☎481-7346

第5回調布市環境基本計画等改定委員会
 日 3月26日(金)午後2時～(受付1時50分～)
 所 文化会館たづくり12階大会議場 定 当日先着5人
 調布市環境政策課 ☎481-7086

新型コロナウイルスワクチンの 高齢者向け接種の概要

4月上旬に
高齢者へ接種券を
発送します

接種には予約が必要です

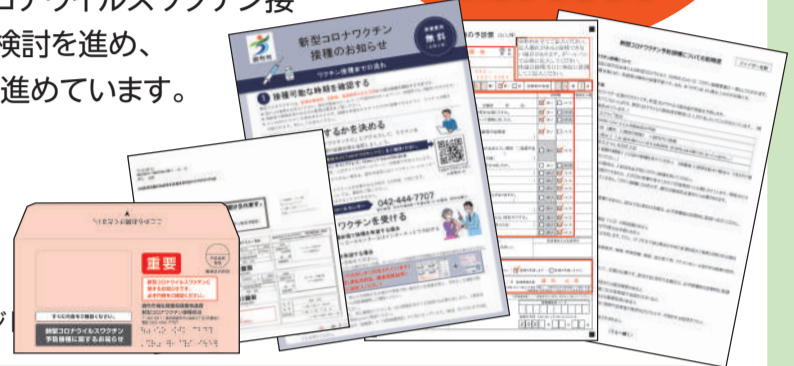
※詳細は決まり次第
お知らせします

市は、調布市医師会や調布市薬剤師会との連携・協力のもと、新型コロナウイルスワクチン接種対策本部により、ワクチン接種協力医や接種会場など必要な取り組みの検討を進め、市民の皆さんに安全に、安心してワクチンを接種していただけるよう準備を進めています。4月中の接種開始に向けて、個別通知や接種方法などをお知らせします。

▼調布駅前広場



発送物のイメージ



調布駅前広場に「集団接種会場」を設置

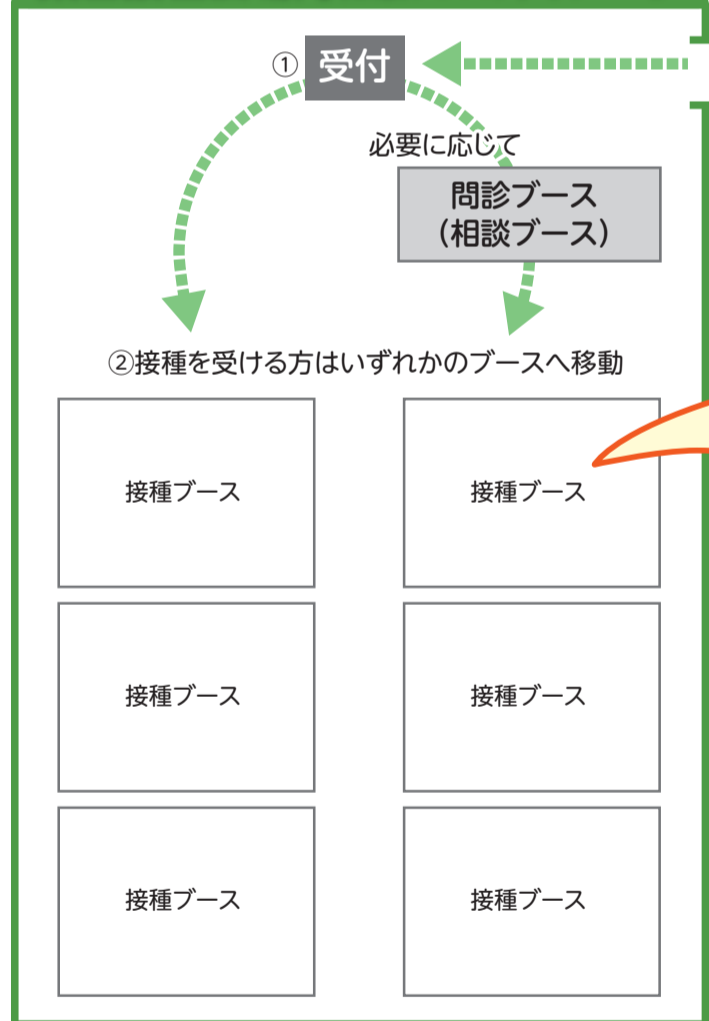
調布駅前広場に仮設プレハブを設置して新型コロナウイルスワクチンの「集団接種」を行います。発送物に同封する接種までの流れを記載したチラシなどをご確認いただき、予診票に必要事項をご記入のうえ、接種券とともにお持ちください。

接種日時／土・日曜日を含む毎日(午前3時間・午後3時間)

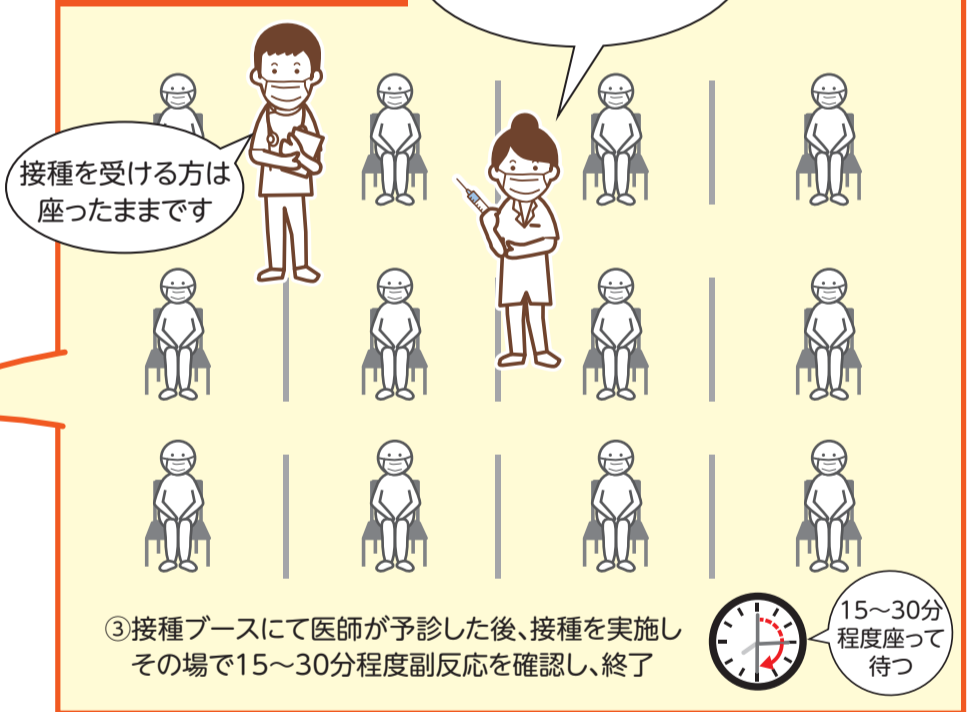
接種方法／受付終了後、予診・接種・待機(副反応確認)までを医師が巡回して行います。原則、移動せず接種できます

そのほか、市内医療機関(約90カ所)での「個別接種」と高齢者施設等で接種する「施設接種」も併用することで、より効果的な接種を行います。

集団接種会場内(仮設プレハブ)イメージ



接種ブース内のイメージ



接種スケジュール(予定)

4月以降高齢者から接種を開始

※ワクチンの供給量などによっては高齢者の年齢を細分化して順次接種券を発送する場合があります

※高齢者以外の方の接種については、決まり次第お知らせします



問い合わせ

調布市新型コロナワクチンコールセンター ☎444-7707
受け付け / ☎午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日除く)

ちょっと待って! 質問サイトの活用を
電話で問い合わせをする前に見てみよう

「新型コロナかなと思った時の連絡先」や「ワクチン接種はいつから始まりますか」といった、よくある質問をまとめたサイトです。

よくある質問をまとめたサイト▶



4面に続く → → →

●新型コロナウイルス感染症対策基金へのご寄附をお願いします

新型コロナウイルス感染症拡大防止や地域医療体制の整備、市民生活への支援、地域経済の回復に活用します。寄附金は、所得税、住民税の寄附金控除の対象となります。調基金について/政策企画課 ☎481-7368、寄附手続きについて/管財課 ☎481-7173

3面の続き → → →



新型コロナウイルスワクチンの 高齢者向け接種の概要

新型コロナウイルスワクチン接種概要

接種方法／医療機関での「**個別接種**」または市が設置する特設会場での「**集団接種**」など
接種回数／2回(21日または28日間隔で接種)
 ※接種間隔はワクチンの種類によって異なる。2回とも同じワクチンを接種する必要あり
接種券／予診票や、接種までの流れを記載したチラシなどとともに市から発送(国が示す接種スケジュールに合わせ対象者に順次発送)
費用／無料
接種を受ける際の同意／感染症予防の効果と副反応のリスクを理解した上で、自らの意志で接種を受けていただきます。同意なく接種が行われることはありません
接種する市町村／原則、居住地(住民票所在地)で接種
 ※長期入院しているなど、やむを得ない事情がある場合には、申請により住民票所在地以外の接種も可能になる予定。詳細は決まり次第お知らせ
ワクチンの情報や相談窓口／厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
 ☎0120-761770(受け付け／☎午前9時～午後9時(土・日曜日、祝日含む))または、厚生労働省☎(右記2次元コードからアクセス可)参照



4月上旬に
高齢者へ
接種券を
発送します

◀ 発送物のイメージ

新型コロナウイルスワクチン による詐欺行為に注意

新型コロナウイルスワクチン接種のために必要と騙り、金銭や個人情報などを騙し取ろうとする電話に関する相談が、消費生活センターに寄せられています。市が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話で求めることはありません。

都の緊急事態措置解除後の 市の施設・イベントなどの対応

新型コロナウイルス感染拡大防止のための都の緊急事態措置の解除後における、市の施設の利用制限やイベントなどの開催制限については、国や都の方針などを踏まえて定める市の対応方針に基づき、段階的に緩和していく予定です。感染の再拡大を防ぐため、ご理解・ご協力をお願いします。

※最新の情報は市☎(右記2次元コードからアクセス可)を参照



緊急事態措置中の対応

措置期間／3月21日(日)まで
※緊急事態宣言の延長などにより変更あり

実施内容／

施設の利用制限など

- 閉館時間の繰り上げ(原則午後7時)
- 一部施設の休館・休業
- 利用人数の制限

市のイベントの開催中止など

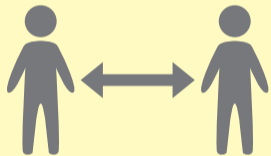
- 一部イベントの中止・延期
- 開催条件の厳格化(収容人数の50%以下、飲食禁止など)

感染予防
のため

市民の皆さんに引き続き守って欲しいこと

3つの密は絶対に避ける

- ・人混みや近距離での会話を避ける
- ・多くの人が集まる室内で大きな声を出したり歌うことを避ける
- ・呼気が激しくなる運動は避ける
- ・人と人との距離の確保



会食は控える



基本的な感染対策の徹底を

- ・マスク着用と咳エチケット
- ・室内換気と適度な保湿
- ・こまめな手洗い
- ・アルコール消毒の徹底



体調不良時や発熱時は

- ・休暇の取得
- ・学校の欠席
- ・外出の自粛



3月11日時点の情報

調布都市計画駐車場調布第2号 調布駅南地下自転車駐車場の都市計画変更

調布駅前広場内に計画していた調布駅南地下自転車駐車場を廃止する変更を行いました。

縦覧場所／都市計画課(市役所7階) ☎交通対策課☎481-7420

調布市景観審議会 市民委員の募集

☎4月12日時点で市内に引き続き3カ月以上居住し、年2回程度開催する会議(主に平日昼間開催)に出席できる20歳以上の方

☎2人(書類選考の上、面接)

任期／6月1日～令和5年5月31日 報酬／1回9400円

☎☎応募用紙(都市計画課(市役所7階)で配布または市☎から印刷可)と課題論文(テーマ「あなたの思う調布の景観」、800～1200字程度)を4月12日(必着)までに直接または郵送、Eメール、FAXで〒182-8511市役所都市計画課☎481-7746・☎481-6800・✉tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jpへ(提出物は返却不可)

令和3年2月福島県沖地震災害義援金にご協力を

☎5月31日(月)まで

☎総合案内所前(市役所2階)、福祉総務課(市役所3階)

☎福祉総務課☎481-7101

食育コラム

コロナ禍の食生活の変化

在宅勤務や外出自粛による運動不足の方、感染リスクが高い大人数での会食などを避けて自宅で食事をする方が増えてきました。また、在宅勤務が進んだことで、食事時間が不規則になりがちだけでなく、ついだらだら食べてしまったり、仕事に集中して食事をしない方もいるようです。

運動不足と食生活の乱れは、生活習慣病を発症・悪化させるため、生活習慣の見直しが必要です。

「新しい生活様式」と上手に付き合うために、生活リズムを乱さないことと、適度な運動習慣を意識することが重要です。朝日を浴びる、食事の時間を決める、間食を摂りすぎないなど、規則正しい生活を心掛けましょう。また、室内でできるストレッチやスクワットなどを積極的に行い、体を動かしてリフレッシュすることも大切です。

在宅勤務は悪い影響だけでなく、時間的余裕ができたことで、今まで取り組めなかった運動や食事などの見直しをする方も多いとされています。改めて自分や家族の食生活を見直し、メリハリのある生活を心掛けてみましょう。

☎健康推進課☎441-6100

Topics

トピックス

調布駅前広場整備計画図案に関する説明会

2月までに実施した市民アンケートやオープンハウスなどでいただいた市民の皆さんによる意見を踏まえて取りまとめた、「調布駅前広場整備計画図案」について説明します。

日 3月24日(水)午後6時～7時30分(5時30分開場)

所 グリーンホール大ホール

申 当日直接会場へ

注 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、入場を制限する場合があります
調布づくり事業課 ☎481-7417

令和3年度分ごみ指定収集袋の無料交付

4月中は窓口が大変混み合うため、時間に余裕を持ってお越しください。

交付開始日/4月1日(木)

対象世帯	申請方法	袋の交付場所
生活保護・中国残留邦人等支援給付受給世帯	「福祉だより」令和3年4月号(生活福祉課発行)を参照	
児童扶養手当受給世帯	4月1日(木)以降、扶養手当証書をごみ対策課窓口(市役所2階)へ持参	ごみ対策課窓口(市役所2階)
特別児童扶養手当受給世帯		
身体障害者手帳1・2級を持つ方がいる世帯で、市民税 ^{*1} が非課税の世帯	4月1日(木)以降、各種手帳をごみ対策課窓口(市役所2階)へ持参	
愛の手帳1・2度を持つ方がいる世帯で、市民税 ^{*1} が非課税の世帯		
精神障害者保健福祉手帳1級を持つ方がいる世帯で、市民税 ^{*1} が非課税の世帯		
令和3年1月1日に市内在住の75歳以上の方のみの世帯で、収入が年金のみ、または収入がない世帯 ^{*2,3}	対象世帯には3月末までに市から申込書などを郵送。申込書に必要事項を記入し、交付場所へ持参	●ごみ対策課窓口(市役所2階) ●各地域福祉センター ●市民プラザあくろす
高齢福祉年金受給世帯		

※1 令和2年度市民税(平成31年1月1日～令和元年12月31日の所得に対するもの)

※2 平成31年1月1日～令和元年12月31日の収入

※3 特別養護老人ホームや有料老人ホームなど(入居時に入居者の自立を要件とするものを除く)に入居し、その施設に住居登録を有する世帯を除く

●年間交付枚数

「燃やせるごみ袋」と「燃やせないごみ袋」を合わせて10組(5袋またはM袋)まで。※複数の要件に当てはまる場合、いずれか一つの要件での交付。申請した月により交付枚数が異なるため早めに申請を

調布ごみ対策課 ☎042-306-8781

粗大ごみの受け付けの一時中断・日時変更

①粗大ごみのインターネット申し込み受け付け一時中断

メンテナンスのため、次の期間は利用できません。

日 3月27日(土)午後8時～28日(日)午後7時

②4月1日(木)から粗大ごみ電話申込窓口の受け付け日時を変更

変更後/

期 月～金曜日(年末年始を除く)

時 午前8時30分～午後5時15分

※市庁からのインターネット受け付け(右記2次元コードからアクセス可)は従来通り24時間利用可

所 粗大ごみ受付センター ☎03-5296-7600

①②共に

調布ごみ対策課 ☎042-306-8200



京王線西調布駅の列車接近メロディー NHK大河ドラマ「新選組！」のテーマ曲に

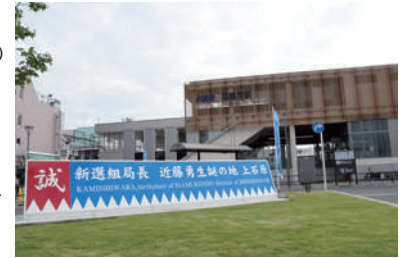
新選組局長の近藤勇は武蔵国多摩郡上石原村辻(現調布市野水)で生まれ、市内や周辺地域には関連する多数の史跡が保存されています。これらを広くPRするため、上石原にある西調布駅の列車接近メロディーを、2004年に放送されたNHK大河ドラマ「新選組！」のテーマ曲にします。メロディーは、音楽家の土屋礼央さんの制作です。

なお、これにより市内の京王線全駅の列車接近メロディーが、その地域ゆかりのものになります。

日 3月26日(金)始発～

曲名/NHK大河ドラマ「新選組！」メインテーマ

所 調布市観光協会事務局 ☎481-7185



(産業振興課)

ミニバス西路線(調43)利用者懇談会

ミニバス西路線の運行ルートなどについて意見交換を行います。

日 ①②3月26日(金)③27日(土)※各回同内容

時 ①午後1時30分～3時②午後7時～8時30分③午前9時30分～11時

所 ①②西部公民館第2学習室③教育会館3階301・302研修室

定 当日先着①②15人③38人

所 交通対策課 ☎481-7454

税の申告をお忘れなく

申告期限が近づくと、市役所や税務署の窓口は大変混雑します。お早めに申告いただくとともに、郵送での申告にご協力ください。

●申告書などへのマイナンバーの記載漏れに注意

税務署や市民税課へ提出する申告書などには、マイナンバーの記載と本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

●市・都民税の申告受け付け

所 市民税課(市役所3階) 日 4月15日(木)

●税務署での所得税・贈与税・消費税の申告・納付期限を4月15日(木)まで延長

確定申告書や決算書などは、国税庁「確定申告特集」から画面の案内に従って金額などを入力することで作成できます。

申告や相談は、自宅からe-Taxや電話相談・チャットボットを利用できます。なお、税務署で申告する場合も、申告書はパソコンでの作成が中心です。

※入場には整理券が必要。受付状況に応じて早めに締め切る場合あり

※確定申告期間中、車での来署不可(体が不自由な方を除く)

※市役所でのお預かりはすでに終了。税務署へ直接提出

調布市・都民税/市民税課 ☎481-7193～7

所得税、復興特別所得税など(国税)/武蔵府中税務署 ☎042-362-4711

市内での聖火リレーボランティア募集

日 ①オリンピック聖火リレー:7月15日(木)

②パラリンピック聖火リレー:8月23日(月)

(予定)

時 ①早朝～昼頃の2～4時間程度

②午後～夕方頃の2～4時間程度

日 平成18(2006)年4月1日以前に生まれた方

で、原則Eメールと携帯電話の両方で事務局からの連絡を受け取ることができる方など

所 聖火リレー沿道の走路管理や沿道周辺の観衆整理、セレモニー会場での運営補助など

募集人数/①520人程度②280人程度(多数抽選)

市内在住・在勤・在学優先)※昨年の募集時に

応募があった方を優先的に登録 所 ユニフォーム(Tシャツ)・帽子支給予定。ボランティア保険は市で加入。詳細は市庁参照

所 電子申請(右記2次元コードからアクセス可)で申し込み、

または申込書(オリンピック・パラリンピック担当(市役所8階)

で配布、または市庁から印刷可)に必要事項を記入し、直接または郵送、E

メールで3月31日(木)(消印有効)までに〒182-8511市役所オリンピック・

パラリンピック担当 ☎481-7447・E chofu_vol@w2.city.chofu.tokyo.jpへ



←オリンピックTシャツ



パラリンピックTシャツ

